

紫竹学区

- ・人口 6,043 人
- ・世帯数 3,092 世帯

*人口、世帯数は令和8年1月1日現在
(京都市住民基本台帳より)

〈住民組織の名称〉

紫竹自治連合会

〈学区住民組織のホームページ〉

<http://shichiku-kyoto.com/>

〈主な年間行事〉

- 6月 防災総合訓練
- 9月 紫竹まつり
紫竹小学校運動会
- 10月 学区民体育祭
敬老者を祝う日
- 11月 紫竹チャレンジ
- 12月 エコ・クリスマスイベント
- 2月 紫竹ecoフェスタ
- 年6回 学区民の清掃



紫竹小学校

〈学区の概要・活動PR〉

御土居や加茂川に囲まれ、比叡山を仰ぎ見るという自然環境に恵まれており、上賀茂神社の摂社である久我(くが)神社のほか、貴船神社や小森社があり、とりわけ「大宮の森の鎮守様」と親しまれる久我神社では、11月の神幸祭で、みこし巡行が行われるなど、歴史的に由緒ある地域です。

昭和に入り区画整理が進み、竹林の宅地化など急速に市街化が進みました。現在は、堀川通、北山通、大宮通等の幹線道路が通り、北警察署、北郵便局や新大宮商店街があり、生活にも便利な地域です。

自治連合会が中心となり、各団体で行われる一大イベント「紫竹まつり」は、バザー、中高生の演奏会、盆踊りなど、学区挙げての夏まつりとして定着しています。また、平成20年4月には、学区の更なる発展を願って22の各種団体と28町内会が加入する自治連合会が設立されました。同連合会は、平成23年にホームページを開設、行事予定や活動報告等各種情報の提供に努めています。

また、平成23年7月29日に「エコ学区」の認定を受け、資源ゴミ回収や衣服再利用促進等のイベントを開催し、学区をあげて環境にやさしい取組を実践しています。

平成23年度から実施したエコ企画とコンサート等を組み合わせたクリスマスイベント、そしてフリーマーケットを中心とした紫竹ecoフェスタを、若者中心の企画により実施し、現在、定着したイベントとなっています。

団塊の世代を中心にした趣味のクラブ「紫竹ローマンクラブ」は、ゴルフクラブや料理クラブなど多彩な同好会から構成されており、地域の清掃活動や地域コミュニティの活性化の取組も行っています。



紫竹まつり



手作りかまどベンチ作成



敬老者を祝う会